

ここでの不活化ワクチンとは：**四種混合 DPT-IPV（ジフテリア、百日せき、破傷風、不活化ポリオ）、三種混合 DPT（ジフテリア、百日せき、破傷風）、不活化ポリオワクチン**

これらのワクチンは、接種回数が多くなると副反応（接種した部位の反応）が強くなる可能性が高いため、再接種は、抗体検査をして免疫が十分付いていない場合のみ行います。後日送付する予防接種票で期限内に品川区指定医療機関で受けた場合は、無料です。

対応C：1期追加までの接種(合計4回)が終わっていない方は、残っている回数を定期接種で定められた間隔で受けてください。

対応D：1期追加までの接種(合計4回)が終わっている方は、抗体検査を受けることができます。混合ワクチンのため、ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオの抗体価をそれぞれ測定します。ジフテリア、百日せき、破傷風の抗体価が上昇していないと判断された場合、四種混合ワクチンを、ポリオのみ抗体価が低かった場合、不活化ポリオワクチンの再接種をします。抗体検査を希望される方は、別紙1の抗体検査と同様に受けてください。

ヒブワクチン

希望で再接種します。後日送付する予防接種票で期限内に品川区指定医療機関で受けた場合は、無料です。抗体検査は、国内では困難なため実施できません。

対応E：1歳未満で初回2～3回目、追加接種がまだの方は、残っている回数を定期接種で定められた間隔で受けてください。

対応F：1歳以上5歳未満で追加接種がまだの方は、追加接種を定期接種で定められた間隔で受けてください。

対応G：1歳以上5歳未満で追加接種が終了している方は、希望で再接種を1回します。

対応H：5歳以上の方は、重篤なインフルエンザ菌b型による感染症発症のリスクが低いと考えられるため、再接種の必要はありません。

<接種期間> 予防接種票到着後（平成29年6月上旬）～平成29年10月31日（火）

*なお、これまでにこのような方法（複数のワクチンを、一つの注射器に混ぜて接種する）で接種を受けたお子様が少ないため、十分な医学的根拠に基づいた判断はできませんが、現在考えられる範囲で、お子様にとってできるだけ負担が少なく、感染症の予防のために有効と考えられる選択肢を品川区予防接種事故調査委員会で検討の上、決定しました。

【問い合わせ先】 品川区保健所 保健予防課
電話：03-5742-9152